

福津市に県内最大の太陽光発電所建設中



原発は即全面的稼働停止・廃止！

津屋崎の塩田跡地に建設中の太陽光パネル(道路から見えます)

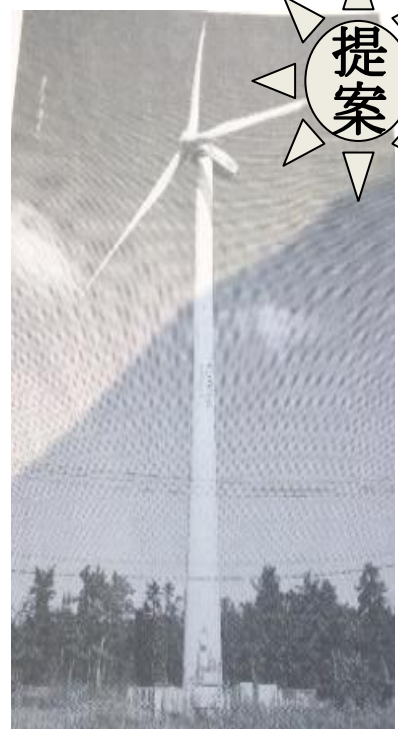
昨年6月号の市議会ニュースで建設計画をお知らせしていましたが、現況をお知らせします。

津屋崎の塩田跡地に建設中の太陽光発電所は、4000kw(今年3月完成)と2000kw(今年夏完成)合わせて6000kwとなり、県内で最大規模の太陽光発電所となります。



報告

環境に優しいエネルギー積極的推進を
福津市を自然エネルギーの先進地に！



提案

福津の海を利用した
洋上風力発電は有望な資源！

福島第1原発事故後、広大な地域で続く放射能汚染など「異質な危険」に「原発ゼロ」は大きな世論です。

環境へ優しい市へ、自然再生エネルギー抱負な福津の海を利用した大規模な(原発規模)洋上風力発電所の建設を検討、すすめようではありませんか。
提案します。

これらの取り組みで地域を豊かにする、夢やロマンを実現する行政や市民の取り組みが求められます。

子ども医療費無料化の拡充を！

子どもの病気お金の心配なく安心して病院にかかれるように 中学3年生まで無料化を！

一人当たり年間約2.4万円

福津市の児童一人当たり(小一から小三年生まででみると)の医療費の自己負担額は年間平均2.4万円もかかっています。無料化が拡充されれば、子育て世帯にとって大助かりです。

厳しい現状

福津市で、経済的な理由で「就学援助」を受けている小中学生が664人もいます。全体で、4437人なので約15%にもなりません。

<日本医師会も要望しています>

「医療崩壊から脱出するためには、身近な医療機関が健全に存続し、国民が経済的負担におびえることなく、いつでも医療機関にかかることができる社会が求められます。」
すべての世代の医療費の患者負担の軽減措置とともに、義務教育終了までの子ども医療費の無料化を要望します。
(平成23年度概算要求へ向けての要望書)
日本医師会

病気になった時に、病院に支払わなければならない三割自己負担は家計に重くのしかかっています。経済的な理由で診療抑制などあつてはなりません。心配なしに病院にかかれる環境整備が必要です。

瓜食(は)めば子ども思ほゆ 粟
食めばまして偲はゆ(略)・・・
銀(しろがね)も金(くがね)も
玉も何せむに まされる宝 子に
しかめやも
山上 憶良

待機児童なくし保育所に入れるように
人口増加に対応を(福津市は増加中)

福津市の人口は平成22年12月では(5万6295人)、県下で唯一減少傾向でしたが、平成24年12月現在(5万7078人)と増加傾向に転じました。

旧津屋崎町地域の転入が目立ちます。今後、福岡駅東の整備が完了しますと、さらに人口の伸びが加速します。

現在、地域的には150人前後の子どもたちが希望する近くの認可保育所に入れなく、遠い保育所行かなくてはなりません。市全体では39人が認可保育所に入れな



希望者が多くて入りきれない保育所

い状況です。子どもを安心して生み育てやすいまちにするため、保育所の増設が求められます。



ケガや病気は、即治療を

こんにちは
日本共産党
です
No.36 2013年 1月

日本共産党市議団
福津市花見が丘一丁目10-10 戸田
福津市津屋崎三丁目11-7 大久保
市議会ニュース

発行
責任者

戸田 進一 花見が丘 電話 43-6114
携帯 080-6406-5325
メール toda.503@nifty.com
大久保三喜男 津屋崎 電話 52-4200
携帯 090-9659-6669
メール jcpmikio@gmail.com
http://mikio.mac-gs.jp/